

5. 15 沖縄平和行進参加報告書

関東地方東京支部 吉岡 泰佑

はじめに、今回沖縄平和行進に参加されました皆様、お疲れ様でした。そして、新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、開催する運びになりました中央本部の皆様、全国の参加者を手厚く歓迎し、サポートして頂きました沖縄地方の皆様、団長副団長各代表者に感謝申し上げます。

5/12（木）から5/16（月）沖縄平和行進に参加させていただきました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの行進、そして沖縄復帰50周年の節目を迎え、今回の活動を通して沖縄の現状を知ることができ、いろいろ考えさせられることになりました。参加するにあたって、関東地方の中で新型コロナウイルス感染症の対応について話し合いとなり、PCR検査、抗原検査キット等を使用し必要な感染対策を講じることにまとめ、沖縄滞在中も全体で感染拡大の防止策を講じた上で視察等の行動になりました。

5. 15平和行進開催し、例年とは違い半日の行進でした。急遽レンジャーの動員がかかり、やらせてもらうことになりました。全港湾グループのレンジャーではなく1つ前のグループ担当で不安でしたが、グループリーダーが「行進している人の安全を確保、誘導がレンジャーだよ」と声を掛けていただきました。また、行進をしている方から「頑張りましたよ」「お疲れ様です」など声を掛けていただき、自然と会話になり不安な気持ちはなくなり、一番心強かったのは後ろから聞こえる全港湾の仲間がやっていたシュプレヒコールです。前のグループのレンジャーでしたが、しっかり届いていました。仲間たちと一緒に行進をしている気持ちになりました。

沖縄平和行進に出発する前に、古田委員長とお話をする機会があり「平和行進で汗を流して完歩した仲間はずっと忘れないよ」というお話が印象的でした。今回は別々の行動で短い距離でしたが、到着地の沖縄市八重島公園で仲間と声を掛け合うと達成感を感じました。

沖縄復帰50周年記念式典が開催されるなか、逆を言えば50年間で何か変わった事はあるのか。インフラ設備はされても米軍専用施設は沖縄に70%もあり、縮小するどころか沖縄の負担が増えている。沖縄についてまだまだ一知半解な部分が多いことがわかった。沖縄だけの問題にするのではなく、日本全体の問題として考えて行動しないと本当の沖縄復帰にはならないと思う。